

2025年フクシマ連帯キャラバン報告書

全港湾 東北地方ひたち支部青年女性部
部長 志賀 翔太

今回自分は12日の決断式から13日の午前中まで福島でフィールドワークをしてきました。当時の映像などを見ることができました。その映像の中で言っていた話なのですが原発事故が発生して国から退避命令が出たことにより捜索活動が余儀なくされ瓦礫や家屋の下敷きになっている人のうめき声が聞こえていても助けられなかった命があることなどを聞いて原発事故がなければ助けられた命だったと思います。

14日は茨城要請行動で福島と同じようなことにはならないために要請行動をしてきたのですが原発に関しては国の方針に任せているから自治体で出来る事は避難計画を作ることだと言われました。その避難計画も実効性を高めるために訓練やシミュレーション重ねてより実効性のあるものにしていきたいと言われました。100%じゃない物を(できたと世に出す事が間違えですしそもそも原発を廃炉にしまえば避難計画など作らなくても市民の命や混乱を招くこともないの)と思いました。

今後自分に出来る事は何かと考えた時に目で見ても肌で感じてわかる事があると思うし支部に持ち帰って話ししても行った人との温度差があって関心も持たない限り相手も学ぶことすらしないと思うから少しでも原発のことにたいして学んでもらって反対の声をあげてもらえるように頑張っていきたいと思いました。